

番号	該当項目等	御意見の趣旨・要旨	宮城県の考え方
1	全体	役所の文章は長すぎて解りづらい。 用語も解りづらいので直してほしい。	御意見の趣旨は、今後の参考とさせていただきます。 今後もわかりやすい文章・説明となるよう努めてまいります。
2	P11 重点目標①最適化による県民サービスの向上 他	キャッシュレス決済の規格が多すぎて汎用性がない。 役所が主導して県民がキャッシュレスになじむ施策を推進してほしい。	現在、国主導で全国的にキャッシュレス決済の推進を図っており、総務省では統一用QRコードである「JPCR」を導入するなど、使いやすい環境整備を進めています。 本ポリシーにおいても公金等のキャッシュレス収納を推進し、利便性の向上を図ってまいります。
3	P7 (3)基本姿勢④広域的な視点に立った行政	広域的な視点に立った行政というのは必要かと思いますが、更に、「近隣県との連携による相乗効果やリソースの最適な活用」と「ICTを有効活用した遠隔地との連携によるリスク管理や戦略的棲み分け」という視点が必要と思われます。	行政の効率化やコスト削減、頻発する自然災害に対するリスク管理など、ICTを活用した広域的な連携は、重要な取組の一つと考えています。国の自治体DX推進計画では、標準化・共通化された情報システムをクラウド上に構築し、自治体の利用を促進することとしており、今後、国や他県の動向を注視しながら、対応を検討してまいります。
4		県庁内で携帯電波が弱いエリアがあるので、改善してほしい。	一般的には、携帯電話サービスを提供している通信事業者の業務分野となります。お使いの携帯電話会社の相談窓口にお問い合わせしてください。
5	P13他 KPIについて	KPIについて、達成結果としてのKGI（※注 Key Goal Index・重要目標達成指標）が見えづらい気がします。	本ポリシーでは、施策や事業のプロセスを重要視し、主な個別施策について、各年度毎の目標値として、KPIを設定しています。施策によっては、最終的なゴールを示すKGIの設定が、難しい面もあると考えており、事業達成に関する評価・行政経営の効率化の観点などを踏まえ、今後の課題とさせていただきます。
6	P13他 オープンデータみやぎ	オープンデータの公開数は先行指標として重要ですが、目的はデータ活用かと思います。 それを考えた際に、現時点ではPDFによる公開が多いようなので使い勝手が良いとは言えず、実際の利活用数がどの程度なのか疑問です。 CSVやXML、JSONなど活用しやすい形式での公開なども評価指標として入れた方が良くと思います。	オープンデータは「官民協働の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化」や「行政の高度化・効率化・透明性」を図る観点から、重要であると認識しており、本ポリシーにおいても行動指針や施策として掲載しているところです。 本県においては、未だ公開データが少なく、また、市町村については公開そのものが進んでいない市町村もあり、まずは、データセット公開数や公開に取り組む市町村数を増やすことが先決であると考え、「オープンデータみやぎ公開数（データセット）」と「オープンデータ公開済み市町村数」の2つをKPIとして設定したところです。
7	P13 教3 授業にICTを活用して指導する能力	指導能力の評価については、具体的にどのように測定するのかをしっかりと検討しないと絵に描いた餅になる気がします。（自己満足になってしまう可能性が高い）	KPI「授業にICTを活用して指導する能力」は、毎年、文部科学省で実施・公表している「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」における調査結果の一つの指標から引用しているものです。教員のICT活用指導力は、16の項目を教員各自が調査票に基づき回答する形式で実施され、指数化したものです。なお、詳細は、文部科学省のホームページで確認いただけます。

番号	該当項目等	御意見の趣旨・要旨	宮城県の考え方
8	P21 目標達成の基盤となる 取組 (3)イ 情報システムの 最適化	「クラウド・バイ・デフォルト」の原則に沿った情報システム活用のためには、ルール、ポリシーの見直し、意識改革等が必須だと考えます。併せて、DX全体に言えることですが、BPRの実施及びBCP策定も必要になるので、業務的視点からの見直しの方を重視したほうが良いのではないのでしょうか。	現在、国が示す「クラウド・バイ・デフォルト」の原則に基づき、クラウドサービスを活用するにあたって「セキュリティポリシー」の見直しなどを予定しております。 また、来年度から外部人材を活用した「（仮称）デジタルみやぎ推進アドバイザー」を設置し、県庁内のDXに向けた意識改革、BPR等を積極的に推進してまいります。
9	P23他 情報セキュリティにつ いて	セキュリティインシデントについての指標（達成指標）の目標値を0とするのは良いと思いますが、研修受講者数やセルフチェックにおける遵守度という、年に1度くらいしかチェックできない指標だけではなく、各所属における毎月のヒヤリ・ハットの報告数など、定期的にセキュリティを意識させるような指標とPDCAを回す仕組みが必要なのではないかと思えます。	ご指摘のとおり、職員に情報セキュリティの重要性を常に意識させていくことは、重要と考えており、県では、情報セキュリティチェックのほか、外部・内部監査、研修、定期的な広報誌の発行、インシデントの発生時には、書面による注意喚起など、様々な方策を実施しています。今後も、様々な方策を活用し、情報セキュリティを確保していきたいと考えています。
10	P27 推進体制	ワーキンググループの開催などは非常に良いのではないかと思います。 推進体制構築については、KGI、KPI設定は見られませんでした。例えば会議時間などをKPIにすると生産性向上に役立つのではないかと思います。	KPIの設定については、御意見のとおり効果的な指標を定めることが基本と考えます。 県では、現在、働き方改革の一環として、会議の開催ルールなどを定めて、会議時間を短縮することなどにより生産性の向上を図っているところです。
11	P29 官民データ計画として の5つの柱 (2)オープンデータの推 進	オープンデータに関しては、実際にどのようなニーズがあるのかについて調査するために、例えば「オープンデータ活用コンテスト」などを開催してはいかがでしょうか？ 実際の活用方法だけではなく、企画案についても募集するとニーズや活用方法が見えてくるのではないかと思います。	オープンデータは「官民協働の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化」や「行政の高度化・効率化・透明性」を図る観点から、重要であると認識しており、本ポリシーにおいても行動指針や施策として掲載しているところです。 ご提案のイベント開催などは、ニーズや活用方策を把握するための有効な手段の一つと考えられますので、今後の検討課題とさせていただきます。

2名、11件